

ヤマトグループ賛助会員向けニュース 発行部数12万部

# ヤマト福祉財団

Yamato Welfare  
Foundation

No.4

2004 Autumn

# NEWS



## 青森ねぶた祭 「障がい者ねぶた」特集







# 毎年8月4日は、「障がい者ねぶた」の日です。 今年も350名の障がい者と 同数のボランティアを招待しました。

大太鼓に合わせて「ラッセラ、ラッセラ、ラッセララッセラ」の掛け声。  
楽しそうな顔、顔、顔。太鼓の振動は、聴覚に障がいのある人も鼓膜で感じる事ができ、  
リズムに合わせて体を動かしています。8月4日は、さまざまな障がいのある方が全国から青森に集まって、  
ボランティアの人やサポーターする人たちといっしょに、「青森ねぶた祭」を満喫します。

**「青森ねぶた祭」への参加も  
「障がい者ねぶた」もきっかけは  
小倉昌男理事長でした。**

**白鳥さん** ヤマト運輸が、青森ねぶた祭に参加するようになって、今年でちょうど20年目になります。昭和57年の全国運輸事業研究協議会が青森で開催されて、当時ヤマト運輸社長だった小倉昌男理事長が青森に来られたんです。ねぶたの期間ということもあって、ハネト(踊り手)として祭りにも参加されました。昭和57年というのは、8月1日に青森県で初めて宅急便がスタートした年です。地元の祭りに会社として参加し貢献できないだろうかということになって、関係機関に打診したんですが、県内では実績もないし当初は難しかったんです。そもそも、ねぶた台は22台と数が決まっています。枠が空かないと出したくても出せないんです。昭和59年暮れに、ねぶたの協会から、来年出場しない団体があるという情報が入りました。本社の役員の方にも青



昭和57年の青森ねぶた祭りに参加した、当時ヤマト運輸社長だった小倉昌男理事長(左から3人目)

森に来ていただいたいて、昭和60年からヤマト運輸として、ねぶたを出せるようになりました。

**平成8年からヤマト運輸の  
「障がい者ねぶた」がスタート。  
今年で9回目になります。**

**三上さん** ヤマト福祉財団が設立されて3年目だったと思うんですが、小倉昌男理事長の指

示で東北支部事務長が青森県内の小規模作業所を全部見て回りました。障がい者に対して何かして上げることはないだろうかということになって、ねぶたに参加できるようにねぶた衣装一式をプレゼントしたのがきっかけです。ヤマト運輸が障がい者を招待するようになって、今年で9年目になります。「青森ねぶた祭」は8月2日から7日まで開催されますが、8月4日を「障がい者ねぶた」の日にしています。今では地元に限定せず、全国から障がい者、ボランティアの方に参加してもらっています。青森社会福祉協議会に窓口になっていたいて、いろいろ調整していただいています。

**一番重要なのは、  
障がい者の安全の確保。  
東北6県の社員の方に  
協力いただいています。**

**三上さん** 「障がい者ねぶた」は、どこでも簡単にできるというものではありません。万一事故で





## ヤマト運輸の出陣ねぶた 題材は、「義経渡海浪漫」

ヤマト運輸の取扱店をはじめ、地元の方々にいろいろご協力いただいて、ねぶた台を出すようになって、今年で20年目を迎えることができました。20年という古株と思われるかもしれませんが、まだまだ新米です。下から数えて3番目か4番目です。平成3年には、最高賞である田村磨賞、4年には商工会議所会頭賞、5年には知事賞を受賞しました。3年連続はヤマト運輸だけです。8年には市長賞をいただきました。賞に入ると、ねぶた祭り最終日8月7日の夜、陸奥湾にねぶたを流すことができます。

そして今年「義経渡海浪漫」、逃げ延びた源義経主従一行が北海道へ渡ったと語り継がれているロマンを秘めた義経伝説を題材にした物です。

### 「障がい者ねぶた」に関する お問い合わせは

ヤマト運輸(株) 青森主管支店サービス課まで  
TEL 017-739-9760

### 【青森ねぶた祭について】

青森県内には「弘前ねぶたまつり」「浅虫温泉ねぶた祭り」「黒石ねぶたまつり」など大小さまざまなねぶた、ねぶた祭りが7月下旬から8月上旬にかけて行われています。なかでも盛大なのが「青森ねぶた祭」で、東北三大祭りの一つに数えられています。



ヤマト運輸のねぶたを、20年前のスタート当初から担当している、青森主管支店 お客様サービス課 白鳥初男 サービスセンター長

「障がい者ねぶた」をを広げたい。  
他の団体とも提携して、  
三上さん 一度「障がい者ねぶた」に参加した方は、必ずと言っていいほど、また参加したいと

もあつたら大変です。動員力があつて、きちんとガイドできる団体でないとできません。青森主管支店はもちろん、東北6県の社員の方にもバス数台で応援にきていただいています。障がい者はグループ単位で参加されます。どの方がボランティアなのか、付き添いの方なのか、運行前の打ち合わせ、コミュニケーションが大切です。おかげさまで、事故はもちろんトラブルも一度もありません。



「障がい者ねぶた」について熱く語ってくれた、ヤマト運輸労働組合 青森支部 三上雅仁 支部執行委員長

ねぶたに初参加した  
レポーターとしての感想。  
レポーター 今回「障がい者ねぶた」の取材を通して、ねぶた祭りにはじめて参加するという  
おっしゃいます。それだけ楽しいのです。22団体  
がねぶたを出していますが、現在ではヤマト運輸  
以外では、1団体が車いすの方を招待している  
だけです。より多くの障がい者に来ていただく  
ために、各団体が提携して「障がい者ねぶた」を  
拡大していくのが理想です。そのために必要な  
安全確保を含めた、ヤマト運輸の「障がい者ねぶ  
た」のノウハウをどんどん提供していきたいと思っ  
ています。

こともあつて、ハネトの衣装に着替え出陣の時を待っている間、緊張しました。もちろん障がい者の方々も緊張した面持ちで静かにスタートを待っています。そして大太鼓と笛と手振り鉦が鳴り初め、「ラッセラ、ラッセラ、ラッセララッセラ」と威勢のよい掛け声を合図にねぶた灯籠が動き出しました。  
目抜き通りの広い車道にはハネトの踊り手が総勢約1,000人ほどにふくれあがり約100mの行列ができ上がりました。そして歩道は見物の人たちが埋め尽くされています。  
カメラのレンズを通して見る障がい者の顔は、みんな笑顔でいっぱいです。自然と腹の底から「ラッセラッセラッセラ」と掛け声を掛け合いながら体を動かしている姿からは、心から楽しんでる様子が伝わってきます。そんな障がい者の方々を見てみると、とても幸せな気持ちになってきます。「障がい者ねぶた」に障がい者が参加できる場と、最後まで事故なく安全に運行をさせていただいた、ヤマト運輸の皆様深く感謝いたします。





東京大学赤門(旧前田藩邸の門、重要文化財)

## 「炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)患者の 就労支援に関する研究」

# 難病患者の「暮らしづらさ・働きづらさ」も 「障がい」の一部として理解されることが期待されます



研究会の伊藤美千代さん

平成16年度の福祉助成金の助成が決定した東京大学大学院医学系研究科健康社会学教室を訪問し、IBD就業問題研究会の伊藤美千代さん(看護師、保健師、修士課程)と指導教員の山崎喜比古助教授(保健学博士・健康社会学教室主任)からお話をうかがいました。

—「まだ、治らないの?」

—「と言われるのが、つらい。」

「潰瘍性大腸炎・クローン病は、小児期に発症するものもありますが、多くは15才から25才の間に発症する難治性の腸疾患です。消化管が炎症をおこし潰瘍ができ、腹痛・下血などが起こります。症状を抑える治療で効果のある場合もありますが、何度も再燃を繰り返すために、周囲の方々の理解と支援が大切です。」24人の患者さんとの面談を終えたばかりの伊藤さんは、潰瘍性大腸炎・クローン病患者向けの就業マニュアルと雇用主向けの潰瘍性大腸炎・クローン病患者雇用マニュアルの作成を目指し、約8万7千名の患者さんのうち3千8百名に対する就労・生活実態調査にとりかかっています。

「調査にあたり、患者会のみならずにも研究会に参加していただいています。この病気は、これから人生設計を立てて社会に出ようとする若い人に多く発症するのが特徴で、最初の就労で失敗したあとの生きづらさや働きづらさが深刻であることが事前調査で判つてきました。いま着手している就労・生活実態調査で、このことをどのくらい浮き彫りにすることができるのかが課題です。」山崎助教授は、健康社会学の立場からライフ・ケア・サポートの言葉をキーワードに医学医療と人文社会学の両方にまたがる視点と概念で各種の調査研究を発表しています。

—「工夫すれば働けることも」

患者も成功体験を共有したい。

「面談した人の中には、宅配業の運転手さんもいました。その方は、配送エリアの中でどこにトイレがあるか・また借りることができるかを地図に整理していました。そして、困難をコントロールしながら仕事をしています。このような成功体験を患者さん同士が共有することで就労前の若い患者さんの不安を軽減することもできます。」伊藤さんのおこなう調査研究によって集積された情報は、患者会の就労支援や活動の貴重な資源となつていきます。

—「当事者参加型リサーチが実態解明に不可欠」

研究者も患者の声を聞いて研究に着手する。

「調査にあたり、患者会のみならずにも研究会に参加していただいています。この病気は、これから人生設計を立てて社会に出ようとする若い人に多く発症するのが特徴で、最初の就労で失敗したあとの生きづらさや働きづらさが深刻であることが事前調査で判つてきました。いま着手している就労・生活実態調査で、このことをどのくらい浮き彫りにすることができるのかが課題です。」山崎助教授は、健康社会学の立場からライフ・ケア・サポートの言葉をキーワードに医学医療と人文社会学の両方にまたがる視点と概念で各種の調査研究を発表しています。

「手帳がないので無理ですよ」

難病患者の暮らしづらさ、働きづらさでは障がい者と同じ

「潰瘍性大腸炎・クローン病は難病指定を受けていますが、難病はその病因の解明や治療方法の開発のみに視点が向いてしまいがちです。実際にハロワで病気のことも合わせて相談すると障害者就労の窓口を紹介されたそうですが、障害者手帳を持たないことで利用できなかったそうです。就労実態を調査することで、雇用主向けのマニュアルを作成し会社側への説明資料として活用することができれば就労への配慮や理解を求めることができるようになります。」伊藤さんは研究成果の活用により具体的に改善される場面が出てくると考えています。

「手帳がないので無理ですよ」

難病患者の暮らしづらさ、働きづらさでは障がい者と同じ

「潰瘍性大腸炎・クローン病は難病指定を受けていますが、難病はその病因の解明や治療方法の開発のみに視点が向いてしまいがちです。実際にハロワで病気のことも合わせて相談すると障害者就労の窓口を紹介されたそうですが、障害者手帳を持たないことで利用できなかったそうです。就労実態を調査することで、雇用主向けのマニュアルを作成し会社側への説明資料として活用することができれば就労への配慮や理解を求めることができるようになります。」伊藤さんは研究成果の活用により具体的に改善される場面が出てくると考えています。

「手帳がないので無理ですよ」

難病患者の暮らしづらさ、働きづらさでは障がい者と同じ

「潰瘍性大腸炎・クローン病は難病指定を受けていますが、難病はその病因の解明や治療方法の開発のみに視点が向いてしまいがちです。実際にハロワで病気のことも合わせて相談すると障害者就労の窓口を紹介されたそうですが、障害者手帳を持たないことで利用できなかったそうです。就労実態を調査することで、雇用主向けのマニュアルを作成し会社側への説明資料として活用することができれば就労への配慮や理解を求めることができるようになります。」伊藤さんは研究成果の活用により具体的に改善される場面が出てくると考えています。



指導教員の山崎喜比古助教授

### 【潰瘍性大腸炎・クローン病の知識】

潰瘍性大腸炎は、大腸・小腸の粘膜に慢性的な炎症や潰瘍を引き起こす原因不明の疾患のひとつ。1975年に厚生省特定疾患に指定された。下痢の傾向が続くほどになると何十回も血便が出るようになる。治療は、薬による対症療法が中心で根本的な治療法はない。多くの場合、患者自身が病態を正しく把握することで症状を沈静化させ体調を維持することができる。2000年度の患者数は6.7万人。クローン病も、消化管に異常を生じる原因不明の疾患のひとつ。主として若い成人に見られる。内科治療を中心に病状を沈静化させることが基本となる。2000年度の患者数は、2万人。

### 今回助成した調査研究の概要

- 患者3000名に対して、質問紙を発送回収し分析する。
- 患者団体40会に対して、質問紙を発送回収し分析する。
- 患者インタビューを20人に対して行う。
- 結果を患者向け就労支援マニュアルと雇用主向け雇用マニュアルにまとめる。
- 研究結果は、学会で発表する。

にした雇用促進の制度を利用することができない難病患者の困難にも目を向けるように、社会の理解が深まってくることを期待されます。







## ヤマト運輸労働組合から 今年も多額の「夏のカンパ」を いただきました。 ありがとうございました。

ヤマト運輸労働組合が毎年実施している恒例の「夏のカンパ」、今年も全国の職場の皆さんから、総額5,065万円の寄付金が集まりました。そのうち、ヤマト福祉財団には、3,565万円の寄付をいただきました。ありがとうございました。さらにヤマト運輸労働組合は、あしなが育英会に1,500万円の寄付をされました。



## NEWS & TOPICS

8月30日(水) ヤマト運輸本社で行われた贈呈式  
左 ヤマト運輸(株)山崎社長  
右 ヤマト運輸労働組合小澤中央執行委員長



## 8月24日(火)、小倉昌男理事長出演の 「ガイヤの夜明け」(金儲けで福祉を変えろ!) が放送されました。

スワンホームページには通常の20倍のアクセスが殺到。取材先の神戸店は、来客数、売上げともに2倍に増えました。スワンベーカリー銀座店には50件以上の電話があり、「スワンベーカリーのこともっと知りたい」「スワンベーカリーをやりたいので、話を聞かせてほしい」「スワンベーカリーで雇ってほしい」など多くの声が寄せられました。



## 第77回オールヤマト野球中央大会で チャリティバザールが行われ、 売上げを寄付していただきました。

オールヤマトグループ・ヤマト運輸労働組合・ヤマト健康保険組合主催の第77回オールヤマト野球中央大会が、9月26日(日)、埼玉県所沢市の西武ドームで行われました。スワンベーカリー銀座店が300セットのパンを用意してチャリティバザールを開催、午前中で完売。チャリティ募金23,818円が集まり、ヤマト福祉財団に寄付していただきました。ありがとうございました。

スワンベーカリーが新しく **open!**  
札幌、柏に2店舗オープンします。

スワンベーカリー柏店、10月30日(土)にオープン!

千葉県柏市東上町1-3 巴波ビル1F

スワンベーカリー札幌時計台店、11月13日(土)にオープン!

札幌市中央区北2条西2丁目 ダイヤビル札幌1F

新しいスワンベーカリーを、どうぞ応援よろしくをお願いします。

## スワン製炭が、ボランティア育成のための 炭焼きセミナーを福岡、仙台で開催。

スワン製炭は、ヤマトグループで炭窯作りのボランティアを育成するために、7月3・4日に福岡で、7月24・25日に仙台で、炭焼きセミナーを開催しました。炭焼き名人の杉浦銀治先生を講師に招き、炭窯の作り方と炭の焼き方を勉強していただきました。



## 平成16年9月30日現在、49,170名様に ヤマト福祉財団の賛助会員になっていただいています。

ヤマト運輸(株)・ヤマト運輸労働組合・ヤマトグループ各社の皆さま、ありがとうございます。

ヤマト福祉財団は、賛助会費を障がい者の自立支援に役立てています。これからも温かいご声援、よろしくをお願いします。

●コラム「ヤマト運輸の誰にも便利なユニバーサルデザイン」は、都合によりお休みさせていただきます。



焼きたて  
パンの  
出張販売

## 損保ジャパン CSR・環境推進室

東京都新宿区西新宿1-26-1

### スワンベーカリー落合店



新宿本社ビル



損保ジャパン社員全員が参加しているボランティア組織「ちぎゅうくらぶ」とCSR・環境推進室で、今回の販売会は運営されています。

## 損保ジャパン本社で、女性社員に大評判。 スワンベーカリー落合店の焼きたてパン。

8月19日・20日の2日間、損保ジャパン本社で落合店が焼きたてパンの出張販売を行いました。メンバーの皆さんは、早朝からパンを焼いて販売も担当して、大忙し。生産能力いっぱいの570個のパンを用意しましたが、わずか35分で完売。女性社員を中心にこの日を楽しみにしている方が多く大盛況でした。

損保ジャパンCSR・環境推進室 末木和代さんにお話を伺いました。「2001年に、地域の方々と一緒に活動をしたいということで、新宿区の社会福祉協議会に相談したら、スワンベーカリー落合店を紹介されました。その足で落合店を訪ねてパンを食べました。「おいしいーこれはいける」と直感。同年12月に本社ビルでアルピニスト野口健さんの講演会を企画した際に、サイン会の横でパンを販売。サイン会が終わる前に全部売り切れてしまいました。それから毎年8月、12月に来てもらっています。」最初の頃は対面販売に尻込みしていたメンバーの方もいたようですが、「生懸命作ったパンが飛ぶように売れて、とても自信になったようです。「ありがとうございます」と皆さん元氣よく声を出していました。

12月の販売会に向けて、オリジナル製品の企画が進行しています。名前は「そんぼじゃ・パン」(仮称)。ビルの形をデザインしたり作戦会議を開いていろいろアイデアを絞っているようです。どんなパンができるのか、損保ジャパンの皆さんもたいへん楽しみにしています。



焼きたて  
パンの  
出張販売

## JPモルガン フィランソロピー・コミッティ

東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビルディング

### スワンカフェ&ベーカリー赤坂店

出張販売とは思えないほど、充実した品揃え。金曜日の昼時には、女性社員を中心に大にざわい。

## 毎週金曜日のランチはスワンの日。 9月から、月曜日のティータイムもスタート。

午前11時前には、焼きたての香ばしい薫りのする40種類のパンとサラダ類が並びます。JPモルガンの社員の皆さんは、バスケットに好きなパンを取ってレジで精算、11時半を過ぎると長蛇の列ができます。レジ置き台はパンを運ぶケースを縦に積んで布で覆った即席デスク。900個のパンが12時半には完売、毎週11〜12万円を売上げています。

JPモルガンフィランソロピー・コミッティ 神本悦子さんにお話を伺いました。「昨年、JPモルガンとして社会貢献できることはないだろうかということで、外人のコンサルタントに相談、赤坂店を紹介されました。私たち委員会がとても共感したことは、障がい者が作ったから買ってくださいではなく、焼きたてのおいしいパンだから買ってくださいという発想。経営、ビジネスをしっかりと考えているということでした。その年の後半だったと思いますが、試験的にランチタイム販売をしたら大好評。昨年からは毎週金曜日に来てもらっています。」

9月からは夕方のティータイム販売も始めました。上々のスタートのようです。「ワールドワイドな金融機関であるJPモルガンさんは、早朝会議も多い。プレックファースト・ミーティング用の商品の提案もしているところですね。」と語る赤坂店・岡本店長、これからはがんばってください。





今年もとびきりの「おいしさ」をお届けします。  
2004スワンのクリスマスケーキ。

ファミリーショート  
[直径約18cm×高さ約5.5cm]  
¥3,300 (¥2,900)



モンブラン  
[直径約15cm×高さ約7cm]  
¥3,000 (¥2,600)



シュトーレン  
[約18cm×11.5cm×高さ7cm]  
¥2,500 (¥2,100)



ムース・オ・ショコラ  
[直径約15cm×高さ約4.7cm]  
¥3,000 (¥2,600)

クリスマスフルーツ  
[直径約15cm×高さ約5.5cm]  
¥3,000 (¥2,600)

今年、厳選5ケーキがラインナップ。  
家族で楽しめる「ファミリーショート」、  
チョコレート系のニューフェイスとして「ム  
ース・オ・ショコラ」が新登場。「昨年、大  
好評だった「モンブラン」。昨年の人気ア  
イテム「クリスマスフルーツ」はさらにお  
いしくなって、今年も登場します。ドイ  
ツの伝統的なクリスマス焼菓子「シュト  
ーレン」は、おなじみの定番アイテム。嚴  
選5アイテム。今年もとびきりの「おい  
しさ」をお届けします。

6月から、商品開発、試作品づくり。  
アンケート結果をふまえて、スワンと  
タカキベーカーリーの共同開発による、商  
品づくりがスタートします。ヤマト運輸  
本社社員、ヤマト運輸労働組合の皆さ  
んにも試食にご協力いただき、「試作  
品づくり」→「試食会」→「ご意見を反  
映」というプロセスを5回繰り返し、  
ようやく完成しました。

スワンのクリスマスケーキが  
商品企画・開発から完成する  
までを誌上初公開します。  
アンケートの分析からスタート。  
クリスマスケーキ配達時に同封したア  
ンケートに、約3,000通のご回答をい  
ただきました。「おいしい」「すてきなデ  
ザイン」というご意見とともに、「もっと  
家族向け、ファミリー向けのケーキを」  
というご意見も数多く寄せられました。  
アンケートの分析から商品企画はスタ  
ートします。



スワンの  
クリスマスケーキを、  
今年もよろしく  
お願いいたします。



ヤマトグループ社員の皆さまのご協力により、昨年は56,941  
個のクリスマスケーキを販売することができ、本当にありがと  
うございました。10月下旬には、ヤマトグループ社員の皆さまの  
所に申込書、リーフレットが届く予定です。2004スワンのクリス  
マスケーキを、今年もよろしく申し上げます。

(株)スワン 寺本正次 常務取締役

前号で取上げた「メール便配達」に関するお問い合わせはヤマト福祉財団 担当:押尾まで Tel:03-3248-0691 Fax:03-3542-5165  
E-mail: y.zaidan@yamato-fukushizaidan.or.jp

ヤマト福祉財団全国支部連絡先(ヤマト運輸(株)内)

| 支部    | 事務長  | 連絡先              |
|-------|------|------------------|
| 北海道支部 | 加藤房男 | TEL.011-891-5040 |
| 東北支部  | 平井 忠 | TEL.022-374-8065 |
| 東京支部  | 窪寺敏幸 | TEL.03-5564-3705 |
| 関東支部  | 安田 稔 | TEL.03-3471-9016 |
| 北信越支部 | 加藤泰男 | TEL.025-231-9512 |
| 中部支部  | 黒沢一誠 | TEL.0561-61-5111 |

| 支部   | 事務長  | 連絡先              |
|------|------|------------------|
| 関西支部 | 富川宣臣 | TEL.06-6682-7127 |
| 中国支部 | 竹下憲雄 | TEL.082-849-1451 |
| 四国支部 | 柳島憲行 | TEL.0877-46-7875 |
| 九州支部 | 目野和彦 | TEL.092-931-3340 |
| 沖縄支部 | 六笠保裕 | TEL.098-859-2811 |

賛助会員 個人49,170人 法人34社(2004年9月30日現在)

古紙配合率100%の再生紙とアメリカ大豆協会認定の大豆油インクを使用しています。

